

農場への豚コレラウイルスの侵入防止対策を強化しましょう！

～野生いのしし侵入防止対策のポイント～

H30.10.

野生いのししから豚コレラウイルスが続々と検出されています。ウイルス侵入防止対策のためには、養豚場と野生いのしとの接触を防ぐ対策を行うことが最も重要です。これまでにも、電気牧柵の設置等、侵入防止対策を進めていただいているところですが、下記のポイントを参考に、野生いのしの侵入防止対策の強化をお願いいたします！！

<ポイント>

①隠れ場所の除去！

→農場内、農場周辺の草刈り等を行い、いのししが身を潜めることができる空間をつくりないようにしましょう！

なぜなら…> <いのししの特徴>

○警戒心が強い！

→隠れ場所があると、いのししは安心して寄ってきます。
(農場周辺の草が伸びた場所、耕作放棄地など)



<ポイント>

②いのししから畜舎内（豚やエサ等）が見えないようにする！=目隠し効果！

→確実に扉を閉める

排泄物・エサ・死体保管場所等の周囲にトタン柵を張る、ブルーシートで覆うなど

③給餌エサの放置をしない！こぼれたエサも掃除する！

なぜなら…> <いのししの特徴>

○雑食性

→植物や根菜、昆虫、農作物、家畜のエサなど何でも食べる！

○環境把握能力が抜群！

→嗅覚・視覚をフル活用して、エサを探して歩き回る

→エサがこぼれた場所は魅力的…

多少の柵があっても突破する努力をします！

<ポイント>

④侵入防止対策の継続！

→農場、畜舎、排泄物・エサ・死体保管場所等の周囲に、電気牧柵やトタン柵、ネット・フェンス等の柵を設置する※。毎日確認を行い、隙間の有無※※や電気牧柵下の草の伸び具合を確認する。また、消石灰を敷地内に散布し、消毒を行う。※※20cmの隙間でも、イノシシはくぐります！！

※各農林事務所に、鳥獣被害対策専門指導員がいますので、電気牧柵の張り方等、ご相談ください。

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

T E L : 0577-33-1111 (内線402,405) F A X : 0577-32-9019

※ 平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。